

Q4

スペシャル
GG21004

大人ガイド▶



たのし〜と
すさ!がみつかる放課後
codonote+

大人向けガイド

が 月 月 日 日 日 曜 日

つくる〜と 劇場



デッサン【でっさん】

デッサンとは、ひともの
紙などの平面にかくこと。えんぴつを使う
ことが多く、色のこさを調整することで立体的に見せることができる。

よくかんさつすることは、
え 絵をかくたり物を作ったり
するきほんだね〜



ぬりぬり！ インスタントデッサン！

2



ちょっとの工夫で
おどろきの出来上がり！
デッサンにちょうせんしてみよう！

① えんぴつをじゅんぴしよう！

使うえんぴつは、2BかB。
しんはとがっていない方がおすすめ。

② レベル1〜3にちょうせん！

色をぬるとき、えんぴつをねかせて持つとかきやすい。

できたら、少し
はなして見ると、
より立体的に
見えるよ！



〈導入のポイント〉

- 「デッサン」とは、絵を描いたり物を作ったりするときの基本で、影を付けて立体的に見せること。
- えんぴつで濃淡を塗り分けて、箱やボールが立体的に見える簡単なデッサンをします。ぬり絵の延長として楽しめるような声かけを。

いちばんこく 1と3のあいだ いちばんうすく

みほん
【見本】

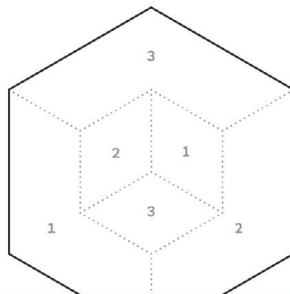
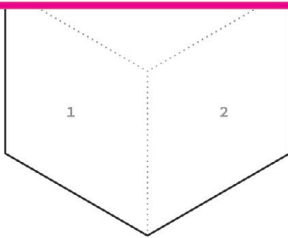


白いところが
のこらないよう
ていねいにぬろう！



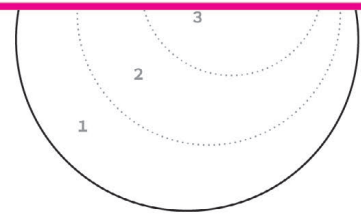
〈声かけのヒント〉

- えんぴつは濃くて柔らかい方が塗りやすいので、Bや2Bなどを使うよう促します。
- えんぴつの持ち方は、文字を書くときの正しさにこだわる必要はなく、自分が塗りやすい持ち方でいいことを伝えます。



〈あそびのヒント〉

- 仕上がりを確認したいときは、シートを少し離して遠目に見ると立体的に見えます。
- ボールはえんぴつで塗った後、ティッシュや指でこすって濃淡の境目をぼかすとより立体的に見えます。
- 作品を友達や家族に見せて、感想を聞きましょう。



〈あそびのねらい〉

- 今回は、絵を描いたり物を作ったりするときに、対象をよく観察する力を養うシートです。光源がどこにあると、どんな影ができるかを考えるきっかけになります。
- ワークシートで体験したデッサンのテクニックは、絵を描くときなどに実践できることを伝えましょう。

をぬったら、ゆびや
ティッシュでこすって
ぼかすとグラデーション
ができるよ！

